

令和7年度の施策・進捗状況

基本方針	施策展開の方向	令和7年度上半期の実績・下半期の取組み予定	令和8年度以降の展開
1 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現	(1) スポーツを楽しむ機会の創出	<p>①ライフステージに応じたスポーツ機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県スポーツ・レクリエーション祭の開催 競技会部門17競技：1,493名 ふれあい交流会部門：118名 ◆クラブアドバイザーによる市町村・クラブ訪問（予定） 35市町村及び61クラブを訪問し、総合型地域スポーツクラブの活動支援・助言を実施する。 <hr/> <p>②スポーツを通じた健康増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆やまがた健康マイレージ実施市町村数 31市町村 ◆やまがた健康づくり協力店数 490店舗 ◆ウォーキングイベントカレンダーの整備 37イベント掲載 ◆ウォーキングWEB大会の開催 5月（1,740名）、6月（1,870名）、10月～11月開催予定 ◆デジタルウォーキングスタンプラリーの開催 開催期間：6月～11月、掲載コース数：15コース ◆県内4地域で歩き方教室を開催 5月から10月にかけて延べ13回開催予定 ◆働き盛り世代の健康UPサポート補助金 3者に交付予定 ◆山形県健康福祉祭の開催 スポーツ交流部門 18種目：1,615名 ◆全国健康福祉祭（ねんりんピック）ぎふ大会への参加選手の選考及び派遣事業の実施 <hr/> <p>③スポーツ指導者等の育成とスポーツボランティア活動の普及・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県スポーツ指導者研修会（県スポーツ協会主催） 10月（110名） ◆県スポーツ推進委員研究大会 6月（294名） ◆スポーツ指導者人材バンク「リーダーバンクやまがた」の周知・広報活動 現在の登録者数：35名 	<ul style="list-style-type: none"> ●県スポーツ・レクリエーション祭による多様なニーズへの対応や新規参入団体の募集、スポーツ実施率の低い女性・若者を対象とした種目の実施により、スポーツ実施率の向上を図る。 ●引き続き、市町村・クラブ訪問を実施する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、県民がスポーツ等を通じて主体的に継続して健康づくりに取り組む環境を整備するため、「やまがた健康マイレージ事業」や「ウォーキングプロジェクト」を実施していく。 ●生きがいと健康づくりを通じた高齢者の社会参加を促進するため、引き続き山形県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への本県選手団の派遣事業を実施する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、研修会と研究大会を実施する。 ●引き続き「リーダーバンクやまがた」の周知・広報活動を継続し、利用の拡大を図る。 目標登録指導者数：100名
	(2) スポーツを楽しむ環境の整備	<p>①スポーツにおける安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆【再掲】県スポーツ指導者研修会（県スポーツ協会主催） 10月（110名） ◆アンチドーピング研修会（県スポーツ協会主催） 開催月：7月（92名）、10月（7名）、12月予定 参加対象：県内アスリートや保護者、指導者等 <hr/> <p>②スポーツインテグリティ（誠実性、健全性、高潔性）の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和7年度競技スポーツ強化事務担当者会議（3月開催予定） 参加対象：41競技団体の事務担当者 概要：補助金等の取扱い、コンプライアンスの確立や事故の未然防止 ◆【再掲】アンチドーピング研修会（県スポーツ協会主催） 開催月：7月（92名）、10月（7名）、12月予定 参加対象：県内アスリートや保護者、指導者等 <hr/> <p>③学校体育施設・スポーツ施設の整備・有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県立学校においては、「開放型」として学校開放事業を実施。 ◆開放校拡大に向けた調査の実施。 21校開放し36団体、1,058人が利用登録中。 	<p>引き続き、スポーツ事故・スポーツ障害等の防止に関わる最新のスポーツ医・科学的な知見等を学習するための研修会を実施する。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●今後も県内の競技団体を統括する県スポーツ協会と連携し、コンプライアンスの徹底と透明性の高い組織運営を進めることができるよう、指導を継続する。 ●今後も継続して研修会を開催し、アンチ・ドーピングについての理解を深め、ドーピングの根絶を目指す。 <hr/> <p>引き続き、県立学校においては「開放型」として学校開放事業を実施するとともに、開放校拡大に向けた調査を実施。</p>

令和7年度の施策・進捗状況

基本方針	施策展開の方向	令和7年度上半期の実績・下半期の取組み予定	令和8年度以降の展開
2 子どものスポーツ機 会の充実と体力の向上	(1) 多様な主体が連携した子ども のスポーツ機会の充実	<p>①幼児期から子どもが楽しく運動する取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆モンテディオ山形の選手等による学校訪問：27回（参加人数2,110人） 10月～3月に5回開催予定 ◆パストラボ山形ワイヴァンズの選手等による学校訪問：9回（参加人数474人） 10月～3月に2回開催予定 <hr/> <p>②地域や関係団体等と連携した子どものスポーツ機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆部活動改革推進に向けたイベント「ブカツのミカタ」を11月と12月に開催予定。 県内外の関係者へ部活動改革推進に向けた取組み等について発信する。 	<p>プロスポーツチームの選手が実施する学校訪問の支援を継続することで、選手との交流機会のより一層の創出を図る。</p> <hr/> <p>県内の部活動改革の取組みやその他情報について、プラットフォームを作成し、県民に向けた情報発信を継続して行う予定。</p>
	(2) 学校におけるスポーツ活動の 充実	<p>①体育・保健体育授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆体力向上に関して、新体力テストの結果等を分析し、体力向上への取組みを検討 ◆体力向上対策会議の開催し、1学校1取組みの継続を呼び掛ける ◆体育授業の好事例が共有できるプラットフォーム「やまがた体育ネット」を開設 各研修等において提示し、活用を呼び掛けている。 <hr/> <p>②地域や関係団体等と連携した部活動等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆【再掲】部活動改革推進に向けたイベント「ブカツのミカタ」を11月と12月に開催予定。 県内外の関係者へ部活動改革推進に向けた取組み等について発信する。 ◆各学校に部活動指導員を配置（中学校94校・111名、高校12校17名） 県内の全中学校に部活動指導員の配置が実現し、部活動指導体制の整備が進んでいる。 ◆運動部活動運営統括責任者向けの研修会を開催 講師：大阪体育大学・土屋裕睦教授 テーマ：「生徒の主体性を育む部活動～ティーチングとコーチングの活用法～」 中学校89名、高校52名に対し、オンラインで講義・演習を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アクティブ・チャイルド・プログラムや実技講習会の開催等により、授業づくりの工夫を促進し、各学校における体力向上に向けた取組みを継続する。 ●継続して、各研究会や研究授業における実践研究資料についてプラットフォームに掲載し、授業の質向上と授業準備の負担軽減につなげる。 ●【再掲】県内の部活動改革の取組みやその他情報について、プラットフォームを作成し、県民に向けた情報発信を継続して行う予定。 ●市町村への意向調査を実施し、その要望に合わせて継続して部活動指導員を配置し、教員の部活動指導の負担軽減を図っていく。 ●演習によってより深い学びにつなげるために、対面での講義も検討しながら、引き続きいじめ防止、体罰根絶に向けて取り組んでいく。

令和7年度の施策・進捗状況

基本方針	施策展開の方向	令和7年度上半期の実績・下半期の取組み予定	令和8年度以降の展開
3 国内外で活躍できるアスリートの育成等と競技力の向上	(1) 次世代を担うアスリートの発掘・育成	<p>①「YAMAGATAドリームキッズ」の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆発足から17年目となり小学4年生から中学3年生までの137人が在籍している。現在、第17期生の選考を進めており、男子15名、女子15名の計30名を選抜する予定。 ◆主要事業の実施状況は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> U12キッズキャンプ 5回（うち、未実施2回） U15アスリートキャンプ 2回（うち、未実施1回） 競技体験プログラム 12競技（うち、未実施4競技） <p><参考>在籍性・修了生の活躍状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子ホッケー：日本代表として1名世界大会へ出場。 ・女子ローイング：日本代表として1名が世界大会へ出場。 ・年代別日本代表に計5名が輩出され、次の成績を残した。 <ul style="list-style-type: none"> ウェイトリフティング：日・韓・中ジュニア交流競技会 第2位 近代2種、3種：アジア選手権 4種目にて優勝 ・国民スポーツ大会：延べ16名が出場。優勝1を含む8種目で入賞し、競技得点52点を獲得。 ・全国高等学校体育大会：延べ24名が出場。優勝1を含む10種目で入賞。 <hr/> <p>②ジュニア期における一貫した指導体制に基づく育成・強化</p> <p>中・高生の一貫強化指導体制の確立を目指す競技団体への支援として、拠点クラブ型ジュニア強化事業を次のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆上半期実績：新体操6回、ローイング7回、スポーツクライミング13回、ラグビー5回 ◆下半期予定：新体操6回、ローイング5回、スポーツクライミング7回、ラグビー6回 	<ul style="list-style-type: none"> ●YAMAGATAドリームキッズ第18期生選考を行い、引き続き国際大会などで活躍する選手の輩出を目指し、スポーツ教育プログラムを遂行する。 ●山形県スポーツタレント発掘事業において、JSCや中央競技団体、県競技団体と連携した各種プログラムの展開と国による発掘育成事業との連携強化により、種目適正評価を充実させる。 ●ジュニア世代競技者の一貫した強化を行う体制を構築するため、競技団体が主体となった継続的・広域的な練習拠点の運営、強化事業の実施、指導体制の構築に向けた支援を行う。
	(2) トップアスリートの育成・強化	<p>①国際大会や全国大会等に向けた戦略的支援の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆オリンピックの招へい等による県内トップアスリートへの講演会や研修会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 上半期実績：3競技団体において、延べ3回の事業を実施 下半期予定：1競技団体において、1回の事業を予定 ◆国内外の優秀指導者の招へいやオンラインでの講習会の推進 <ul style="list-style-type: none"> 上半期実績：9競技団体において、延べ16回の事業を実施 下半期予定：2競技団体において、延べ2回の事業を予定 ◆全国大会等を目指す選手に対する専門家による講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 全国障害者スポーツ大会に向けて、上半期に4回の講習会を実施 ◆全国障害者スポーツ大会出場選手を対象とした強化練習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 全国障害者スポーツ大会に向けて、次のとおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 陸上4回、水泳4回、卓球4回、フライングディスク4回、アーチェリー4回 <hr/> <p>②トップアスリート育成に向けた優れた指導者の養成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県外・海外の優秀指導者を招へいた研修会の開催等による指導力・競技力向上の支援 <ul style="list-style-type: none"> 上半期実績：10競技団体において、延べ11回の事業を実施 下半期予定：23競技団体において、延べ26回の事業を予定 <hr/> <p>③スポーツ医・科学やデジタル技術の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆医・科学的サポートを行うトレーナーの派遣支援 補助額：2,097千円 <ul style="list-style-type: none"> 10種目・延べ77名派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、重点競技力対策事業・通常競技力対策事業等により各競技団体を支援する。 ●引き続き、重点競技力対策事業・通常競技力対策事業等により各競技団体を支援する。 ●毎年10月頃に行われる全国障害者スポーツ大会に向け、年に4回ほどの講習会を今後も実施予定。 ●今後も各競技ごとに毎年4～5回ほど実施予定。 ●引き続き、重点競技力対策事業・通常競技力対策事業等により各競技団体を支援する。 引き続き、トレーナーの派遣支援事業により、アスリートが安心して能力を引き出せる環境づくりに努める。

令和7年度の施策・進捗状況

基本方針	施策展開の方向	令和7年度上半期の実績・下半期の取組み予定	令和8年度以降の展開
4 スポーツによる共生社会の実現と地域活性化の推進	(1) スポーツを通じた誰もが参画できる共生社会の実現	<p>①障がい者スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆障がい者スポーツ出前教室の開催 上半期に5回実施。下半期も上半期と同等の回数を実施予定。 ◆障がいの有無に関わらず参加できる障がい者スポーツ教室やパラスポーツ交流会の開催 上半期に6回実施。下半期は4回実施予定。 ◆障がい者スポーツ大会（競技大会・レクリエーション大会）の開催 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク及びボッチャの競技大会、身体障がい者レクリエーション大会、知的障がい者レクリエーション大会、県内各地区レクリエーション大会を、それぞれ1回実施。 <hr/> <p>②スポーツにおける女性の活躍推進・ジェンダー平等の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県スポーツ・レクリエーション祭ふれあい交流会部門で親子で参加できるボルダリングやスケートボード等のアーバンスポーツを実施した。 ◆総合型クラブで女性をターゲットとしたヨガ、ダンス等の種目の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校や事業所、各団体に向け、年に10回ほど行っていく予定。 ●ボッチャ、ラダーゲッター、カローリング等、障がいの有無にかかわらずできるスポーツ教室を年に10回ほど開催していく予定。 ●今年度と同様に、各大会をそれぞれ1回実施予定。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●親子で参加できる種目や女性が参加しやすいスポーツ種目の実施 ●季節ごとのスポーツ種目や年間を通して実施できるスポーツ種目の実施
	(2) スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大、地域活性化の推進	<p>①プロスポーツチーム等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆【再掲】モンテディオ山形の選手等による学校訪問：27回（2,110名） 10月～3月に5回開催予定 ◆【再掲】パストラボ山形ワイヴァンズの選手等による学校訪問：9回（474名） 10月～3月に2回開催予定 ◆プロスポーツ等応援団体活動事業費補助金：5団体に交付 <hr/> <p>②スポーツイベントの開催・スポーツツーリズム等を通じた交流の拡大や地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県スポーツコミッションと連携した県内スポーツ合宿の誘致：6件 補助額：1,088千円 ◆国際バドミントンU16庄内2025の開催支援 補助額：2,000千円 6月（3,000名。うち県外50名、海外50名） ◆おもてなし山形トライアスロン2025inZAOの開催支援 補助額：300千円 9月（308名。うち県外273名） <hr/> <p>③地域のスポーツ資源を活用した地域スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業の選手に対する競技力向上のための活動助成 2個人8団体（1,010千円） ◆山形県競技スポーツ強化戦略会議 第1回（5月）、第2回（1月予定） 参集者：関係団体代表・大学教授等の有識者14名 ◆山形県競技スポーツ強化推進プロジェクト会議（12月予定） 参集者：県スポーツ協会・高体連代表等10名（予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】プロスポーツチームの選手が実施する学校訪問の支援を継続することで、選手との交流機会のより一層の創出を図る。 ●スポーツコミッションとプロスポーツチームが連携し、県民がプロスポーツを観戦する機会の創出を図る。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツコミッションのHPにおいて、県内のスポーツ施設・宿泊施設や、合宿事例に関する情報発信をするほか、受入・相談窓口の対応、補助金の交付を通じて、スポーツ合宿やイベントの誘致を推進する。 ●大規模大会の開催支援のための補助制度を継続・拡充することで、交流人口の拡大・地域活性化を図る。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●企業スポーツ振興協議会を通じた企業チームや選手への支援を継続する。 ●競技スポーツ強化戦略会議・強化推進プロジェクト会議等を通じて、企業・大学等関係団体との連携協働を継続していく。